YAMAGATA★IBUKI Vol.151

山形いぶき

YNA　夢・ナーシング・愛

病院紹介

山形大学医学部附属病院は特定機能病院であり、2019年9月には「がんゲノム医療拠点病院」に認定されました。

県内唯一の大学病院が果たす役割は、大変大きいものがあります。その中で一翼を担う看護師は日々、「患者さんにとっての最善の看護とは何か」を追求し、様々な挑戦をしています。看護専門職者として挑戦し、未来に向かって羽ばたく勇気をもちつつ、看護の原点を見つめる謙虚な姿勢を忘れない、という私達の思いを「YUMe(Yamagata University Medicine)Nurse」のロゴマークに込めて、プライドをもって看護を実践しています。

院内は病院の国際化に向けて色彩を豊かにリニューアルされ、ソフト面、ハード面ともに明るく、優しい雰囲気になっています。

看護部長　齊藤　律子

TOPICS

- 山形県健康福祉部との業務推進懇談会
- 専門・認定看護師等派遣事業を活用して
- リモート研修を開催して
- 新型コロナウイルス感染症特集
- 委員会活動より
- 令和3年度山形県看護協会改選役員及び推薦委員並びに支部役員
  令和4年度日本看護協会代議員及び予備代議員への立候補・推薦について
- ナースセンターだより

令和3年度「日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会」
- 期日:令和3年6月9日(水)・10日(木)
- 場所:幕張メッセ(千葉県千葉市)

令和3年度「山形県看護協会通常総会」
- 期日:令和3年6月18日(金)
- 場所:山形県看護協会会館・看護研修センター

令和2年度 会員数(10月現在)

保健師	364
助産師	366
看護師	6,966
准看護師	162
計	7,858

公益社団法人 山形県看護協会
ホームページ　http://www.nurse-yamagata.or.jp
山形県看護協会
県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクできます。機種によってはアクセスできない場合があります。

「山形県健康福祉部との業務推進懇談会」を開催して

公益社団法人山形県看護協会　副会長 **佐藤　久枝**

令和２年９月７日（木）山形県看護協会会館において「山形県健康福祉部との業務推進懇談会」が開催されました。山形県健康福祉部の阿彦忠之医療統括監はじめ、医療政策課地域医療支援室３名、長寿社会政策課１名、健康づくり推進課２名の皆さまにおいでいただき、山形県看護協会からは会長はじめ役員 22 名、事務局５名が出席いたしました。

はじめに、井上会長より日本看護協会と山形県看護協会の令和２年度事業概要について説明。その後、山形県健康福祉部より施策推進の基本方針として「県民が安心して暮らせる医療体制の充実」「災害医療体制の充実強化」等についての説明がありました。情報交換は、(1) 地域包括ケアにおける看護提供体制の推進と地域の看護力強化 (2) 看護職の働き方改革・看護職の確保の強化 (3) 看護職の資質向上と人材育成 (4) 継続した公益目的事業の展開 (5) 職能委員会活動の充実と強化の５つのテーマに沿って意見交換を行いました。最後に阿彦統括監より山形県の「訪問看護総合支援センター」の取組については、今年度のモデル事業を通して情報を共有し、令和３年度開設に向けて準備を進めたいとのお話がありました。共通の目的のもと、情報や課題を共有し、活発な意見交換がなされ、双方の考え方や思いが十分に通い合う懇談となりました。看護協会としては、県と益々密接な連携を図り活動できるようにしてまいります。

秋の叙勲

栄えある受章おめでとうございます

荒井 くみ子 様　（元山形県立中央病院　副院長兼看護部長）　**瑞宝単光章**
飯野佐知子 様　（元山形市立病院済生館　副看護部長）　**瑞宝単光章**
小野久実子 様　（元山形大学医学部附属病院　副看護部長）　**瑞宝単光章**
和田　美恵 様　（元山形大学医学部附属病院　看護師長）　**瑞宝単光章**

令和３年度 公益社団法人日本看護協会長表彰候補者の調査について

当協会ホームページに掲載しておりますとおり日本看護協会長表彰候補者の調査を行っております。推薦者がございましたら、協会宛てに候補者調書をお送りください。詳細は、当協会ホームページの新着情報をご参照いただくか、下記へお問い合わせ願います。

提出期限：**令和２年 11月 30日(月)**
問合わせ・提出先：**山形県看護協会 総務課 宛**
電話番号：**023-685-8033**

「専門・認定看護師等派遣事業」の研修を行って

～男性の膀胱留置カテーテル挿入の苦手意識を克服！～

訪問看護ステーションやまがた　教育担当 蓼沼　志保

訪問看護の利用者が増加している現在、膀胱がんや排尿障害などにより在宅でも膀胱留置カテーテルを長期留置しながら療養されている利用者もいます。

当ステーションでは、男性の膀胱留置カテーテルの挿入困難事例を多く経験したことで苦手意識を抱くスタッフが少なくない状況にありました。カテーテルのトラブルなどにより緊急訪問をした際、再挿入を 1 人で実施せざるを得ない事があります。そのため、スタッフ全員が一定の知識や技術を習得することで苦手意識を克服し、利用者に安全で苦痛の少ないケアを提供することが必要となります。

この度、専門・認定看護師等派遣事業を活用し、山形大学大学院　松田友美教授より「膀胱留置カテーテル挿入についての講習会」を開催して頂きました。シミュレーターを用いた研修で、解剖生理の基礎的な面から尿道の屈曲と可動性における挿入時のコツなど、実践をイメージしながら“これなら出来る！”と自信が持てるような講義をして頂きました。

受講後の参加者へのアンケートを実施した結果、「苦手意識が減った」という意見が約8割ありました。また、挿入困難だった事例でも「いつもよりスムーズに挿入できた」と看護師からの声もありました。私自身、出血傾向のあるハイリスクの利用者にカテーテル挿入を行いましたが、挿入後の血尿もなく実施することが出来ました。

今回学習したことを今後の実践に活かし、全員が自信を持って技術を提供できるよう努めていきたいと思います。

…新しい生活様式に沿ってリモート研修を開催…

～看取りケアのプロセスと心を癒す声かけ、聴く力～

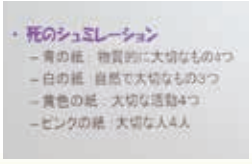
看護師職能Ⅰ委員長　竹田恵美子

看護師職能委員会Ⅰでは、新型コロナウィルス感染症拡大予防のために、新しい生活様式を踏まえ、10 月 2 日（金）に初めてリモート研修（Zoom 講義）を開催しました。研修前日、遅くまで通信状況等の調整に山形県看護協会の皆様にご準備いただき、当日は、愛知県のいきいき在宅クリニック 看護部長 横江由理子先生と会場をつなぎました。音声や映像の切り替え、DVD、BGM 等、トラブルが心配されましたが、大きな不具合もなく研修が進められました。

3 密を避けるために受講者の定員を100名としましたが、多くの希望があり、午前・午後の 2 部制をとり、171 名の皆さんにご参加いただきました。看取りケアや患者の意思決定支援に対する関心の高さが伺えました。1 時間ごとに窓を開けて換気を行ったり、午前・午後の入れ替えの際には、会場やトイレのふき取り清掃を行う等、感染対策に注意を払いました。

研修会は、講師自身のエンドオブライフケアチーム活動やクリニックでの訪問看護の様子などが DVD や写真で紹介されました。具体的な事例紹介により、次第に会場全体がその場に遭遇したかのようなベールに包まれ、多くの受講者の皆さんが涙する場面が見られました。「死のシミュレーション」の体験では、シーンとしてやや冷たい空気の会場の雰囲気、静かで穏やかに流れる BGM、死へ近づくかのように誘導される先生の語り口調に引き込まれ、ひとつひとつ“大切なもの”を失う悲しさや寂しさ・不安を感じ、患者の気持ちに近づくことができたのではないかと思います。受講者より、「その人にとって最善の医療とケア」とは何かを患者と共に考え、意思決定に悩み揺れ動く患者・家族に寄り添い、傾聴・共感する大切さを深く学ぶことができたという声がありました。

今回は、リモート研修ではあっても身近に先生を感じ臨場感もあったことから、遠く離れた講師とも効果的な研修ができると手ごたえを感じました。感染予防を行いながら日常生活を送る with コロナの時代、研修スタイルの変化にも対応しながら、さらに臨床現場から求められる研修を企画していきたいと思います。



新型コロナウイルス感染症 特集

職員のメンタルヘルスについて

メンタルヘルスサポートチーム発足にあたり

―職員（の健康）は何としても病院が守る！―

日本海総合病院　副院長（兼）看護部長　中村　美穂

当院は、第二種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症対応をしています。PCR検査陽性患者さんの入院対応の他、一般の入外患者さんやご家族、来院者すべてに対する「院内感染をおこさない」ための職員の対応は多岐にわたります。いつ終息するかわからない中、「いつか自分が感染するのではないか」「家族へうつすのではないか」「感染したら職場に迷惑をかけてしまう」等、職員の精神的ストレスははかり知れません。

当院では、「患者及び医療従事者の心身にかかる負担軽減と周囲（院内外）のサポート体制の充実を図る」ことを目的に、「メンタルヘルスサポートチーム」を4月16日に発足させました。精神科医師、臨床心理士中心の構成メンバーで、「守られている安心感が持てること」「モチベーションの向上」「孤独感の排除」「支え合いの精神が持てること」を目指し、『職員（の健康）は何としても病院が守る！』というメッセージ・姿勢を伝える活動を行っています。

職員のサポートは、職務遂行基盤（スキル・知識・安全）に対し感染管理認定看護師からの専門的教育を受ける体制を整備し、個人のセルフケアに対しては「こころの健康サポート通信」を全職員向けに発行しています。また、家族からのサポートに対しては、病院長からのメッセージが手紙で全職員の家族へ届けられました。

感染のために入院された患者さんへは、退院時にこころのケアに関する資料や各種相談窓口等を記載した文書を説明しお渡ししています。

幸いなことに、精神的ストレスを理由に職場から離れている職員はおりませんが、いつ第2波が来るかわからないこの期間も、メンタルヘルスサポートチームの活動は継続されています。

チームで取り組む職員のメンタルヘルス支援

山形県立中央病院 看護師長 精神科認定看護師　清水　義人

私は今年度、長年勤務していた精神科病院より現在の病院に着任しました。一般総合病院に勤務する精神科認定看護師は私のみとなっています。

当院は第一種感染症指定医療機関であり、4月からCOVID-19感染者や陽性疑いの患者を受け入れております。それに伴い受け入れのための暫定的な病床再編があり、私が担当する病棟でも病床数を削減し、スタッフが感染症病棟を含め他部署に長期応援に出ています。このような中、COVID-19感染症に関する対応等で、不安や心の悩みを抱えている職員の負担軽減のため、大きく二つの活動をしております。

一つ目は組織の取り組みとして、部長室より院内相談窓口の設置の要請を受け、精神科認定看護師と精神科医師が連携して職員の相談に応じています。相談者は事務部門の予約受付窓口となっている電話で予約し、連絡を受けた精神科認定看護師が日程を調整します。そして精神科認定看護師は相談者と面談、トリアージを行い、必要時精神科医師にコンサルトをします。

二つ目は師長として各部署の師長と情報を共有し、巡回を行いながら相談窓口としてスタッフのメンタルヘルスケアを行っています。また、COVID-19感染症患者の入院病棟とICUのスタッフ向けに、コロナ禍においても働き続けられるメンタルヘルスケアについて学習会も行っています。

以上の活動から、少しずつストレスコーピングやセルフコントロールができるようになったとの声も聞かれるようになりました。今後もチームで連携し、メンタルヘルスの支援の活動を通してスタッフのこころの健康づくりに貢献していきたいと思います。また、コロナ禍においても、当院のスタッフが活き活きと働き続けられるよう、そしてそれが最終的に患者さんに還元され、より良い看護の提供につながることを目標にしています。

当院に贈っていただいた心温まる応援メッセージ

山形市保健所における新型コロナウイルス感染症への対応について

山形市保健所　川合　尚子

山形市は、平成31年4月1日に中核市に移行し、保健所を設置しました。

保健所設置後１年が経過しないうちに、健康危機管理の第一線を担う事態が発生しました。新型コロナウイルス感染症への対応です。山形市保健所でも年が明けて間もなく、情報収集や国等からの通知に基づく対応に追われました。２月上旬には「帰国者・接触者相談センター」を設置し、保健所全体で職種関係なく当番制で毎日、日中～夜間まで電話相談にあたるとともに、福祉分野の保健師等にも相談業務の応援を要請しました。市内で初めて新型コロナウイルス感染者が発生した４月には、１日200件以上の電話相談に対応した日もありました。

感染症予防担当はPCR検査の受診誘導や移送の同行、陽性者が判明すれば入院調整や疫学調査の実施、接触者への対応、発生の公表準備など短時間で多くの対応が求められます。そのため、保健所内の応援体制を強化することで、感染症予防業務の一端を多くの保健師が経験する機会にもなりました。一方で、市町村保健サービスの住民検診や乳幼児健診など、平常業務の中止・延期の判断とその後の対応検討を新型コロナウイルス感染症への対応と並行して行わなければならなかった点には苦慮しました。

山形市における保健所業務はスタートしたばかりで、感染症対策の経験が浅いですが、保健所としての使命は変わりません。体制整備や人材育成について課題はありますが、この経験を今後の様々な健康危機の対応に活かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、いつもご尽力いただいている医療機関はじめ、多くの関係者の皆様に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に関する要望書提出

県保健所保健師及び市町村保健師の確保、保健所の体制整備及び保健師の慰労金の支給、訪問看護ステーションのサービスを継続できる仕組みづくりについて要望

公益社団法人山形県看護協会　会長　井上　栄子

当看護協会は、9月15日、県に対して、県保健所保健師及び市町村保健師の確保及び保健所の体制整備、保健師の慰労金の支給、訪問看護ステーションの経営支援、サービスを継続できる仕組みづくり等を求めました。

これは、6月に、新型コロナ感染症拡大に係る実態調査の結果、市町村保健師は、平常業務に新型コロナウイルス感染対策の業務が加わり業務量が増大、負担が急増し対応できない現状があり、保健師の人材確保による体制整備が必要であること、保健師に対する慰労金の支給、また訪問看護ステーションにおいては、利用者の減少や感染症対策のコスト増大により、減収・減益がおきていることなど経営支援、サービスを継続できる仕組みづくり等を求めました。

県庁を訪れ、玉木康雄県健康福祉部長に要望書を手渡ししました。私は、「保健師の人材確保は喫緊の課題であり、苦労に報いるためにも慰労金をお願いしたい。」玉木部長は、「保健師の人材確保等、訪問看護ステーション等、しっかり検討していきたい。」ということでした。

国においても、「今後を見据えた保健所の即応体制の整備に向けた指針」（厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部）が示されています。

これまでの新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所の業務実態を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大に向けて保健所等に勤務する職員の人材確保や整備が必要となっています。

勤務環境改善推進委員会

働き方改革関連法の年次有給休暇取得による現状と今後

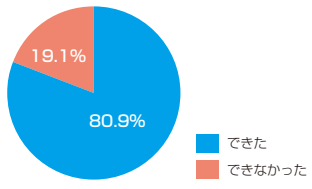
委員長 川井ひろみ

2019年4月1日から働き方改革関連法が順次施行されました。そのひとつとして、全ての事業所を対象に、年10日以上の年次有給休暇が付与される労働者に対して、そのうちの5日間は毎年時季を指定して取得させることが義務づけられ、医療機関で働く全ての人にも適用されました。

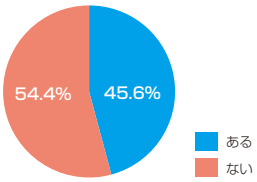
労働基準法では、労働者の心身のリフレッシュを図ることを目的として、一定の要件を満たす労働者に対し毎年一定日数の年次有給休暇を与えることを規定しています。しかし医療機関によっては、従来の人員不足に加え、退職者や病休、産休のために減少したスタッフの補充がされず厳しい状況にあります。休みを希望した場合は代休となり、年次有給休暇を取得できない職場が少なくありません。これに加えて今回の5日間の年次有給休暇の義務化は、医療安全上、必要な日勤者や夜勤者の人数を確保するために勤務表を作成する看護管理者の頭を悩ませ、通常よりも少人数で日勤業務を行ったということも聞こえてきました。またこの法律に違反した場合は罰則が科せられることもあり、各施設では確実に5日間の年次有給休暇を取得するために様々な工夫を考えました。時間外労働の削減、適切な夜勤回数と勤務間インターバルの確保、年次有給休暇取得などは私たちの心身の健康を維持すると共に、ワーク・ライフ・バランスの推進のためでもあります。法律だから守らなければならないというよりも、働き方改革を進めていくためにはどんな工夫があるのだろうという気持ちになりたいものです。年次有給休暇取得を目的とした計画的な人員確保、業務改善、柔軟な働き方の導入、AIの活用など環境を整えるには長期間を要するかもしれません。

この度、勤務環境改善推進委員会では、皆様からのご協力をいただき「2019年度の看護職員の年次有給休暇取得状況」について調査を行いましたので、抜粋して報告します。年次有給休暇の取得状況や取得のための組織の取り組みなど参考にしていただけると幸いです。

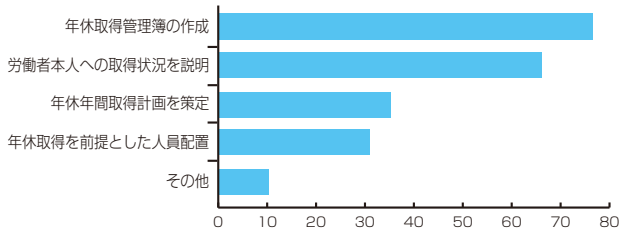
≪全職員の5日以上の年休取得状況≫



≪年休取得のための組織の取り組み≫



≪年休取得のための組織の取り組み≫



いのちの教育推進委員会

若者の未来のために一緒に活動しませんか！

委員長 槌谷由美子

「性の健康支援ネットワーク」は、小·中·高校生に対する「いのちの教育」や「性の健康に関する知識」等の「出前授業」を通して、青少年の健全な育成と、「いのちの教育」の普及·啓発活動の推進を目的として活動しています。2019年度は小・中・高等学校等合わせて、43講座を実施し、4,040名が参加しました。今年度も新型コロナウィルス感染症に配慮しながら活動を続けています。

この「いのちの教育」等の「出前授業」は、「性の健康支援ネットワーク」登録会員が行っています。現在、会員は、保健師、助産師、看護師合わせて55名で、そのうち男性会員は3名です。ネットワーク会員は職種に関わらず山形県看護協会会員であればどなたでも登録することができ、随時募集しています。「自分に出前授業ができるのか不安」、「どのように授業を行っているのか見てみたい」という方は、事前の申し込みにより出前授業を見学することもできます。興味のある方は看護協会までお問合せください。

在宅ケア推進委員会

高齢者の救急搬送の現状をACPで考える

委員長 大竹まり子

在宅ケア推進委員会では、昨年に引き続き高齢者の救急搬送をテーマに研修を企画しました。100名を超える応募があり、感染対策として9月12日(土)に2回開催しております。

研修会では高齢者の救急搬送が増えている現状と高齢者の意向をつなぐ各地の先駆的取り組みの紹介、ACPの基本について基調講演をさせて頂いた後、4名のシンポジストから高齢者の救急搬送をめぐる現状と課題をご報告いただき、参加者と意見交換しました。

山形市消防本部救急救命課の西村将輝氏からは、搬送先の決まらない搬送困難症例が増加している現状が報告され、山形大学医学部附属病院の佐藤貴美氏からは、心肺停止状態で救急搬送された高齢者のうち本人の意向が確認できたのは9名、意向が尊重されたのは1名のみだったことが報告されました。訪問看護ステーションハローナース齋藤典子氏からは、緊急訪問の現状、ACPシートを活用した連携、多問題家族の救急搬送に備えた連携の実際が報告され、特別養護老人ホームかつろくの里の高木知里氏からは、救急搬送がない現状と看取り介護の導入と実際が報告されました。

アンケートは100%の回収率で、満足度 70%以上が 81%、内容とニーズの合致88%でした。自由記述から「ACPに関する他施設、職域からの提案や報告を参考にしたい」「連携の必要性を痛感した」など、研修のねらいである職域を超えた現状と課題の共有ができたと考えます。

コロナ禍での研修会で綿密なチェックリストのもとさまざまな感染対策が取られました。これらは委員会のメンバーだけで出来ることではありません。ご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

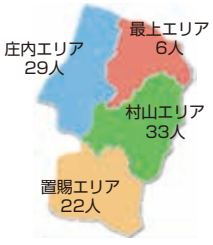
災害看護対策委員会

「災害支援ナース」として一緒に活動しませんか？

山形県を支える力を貸してください!! 災害支援ナース100人をめざして

委員 田邊　友美

皆さんは「災害支援ナース」をご存じでしょうか？災害支援ナースとは、看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適正な医療・看護を提供する役割を担う看護職であり、都道府県看護協会に登録されています。大規模自然災害発生時には、災害規模に応じて「レベル1(単独支援対応)・2(近隣支援対応)・3(広域支援対応)」に区分し、レベル毎に定められた方法で、日本看護協会または災害が発生した都道府県看護協会が協定書に基づき派遣調整が行われます。原則3泊4日の活動で、主に各地の避難所で被災住民の健康管理や心のケアに当たります。災害支援ナースになるためには、災害看護基礎編、災害看護実務編を受講し、所属施設の所属長の承諾を得て都道府県看護協会に登録します。



災害支援ナース登録者数

令和2年9月現在
合計90人

自然災害により、毎年のように全国各地で深刻な災害が起こっています。令和元年10月に発生した台風19号においては災害レベル2となり、日本看護協会からの派遣要請を受け、宮城県丸森町に山形県看護協会の災害支援ナース26名が派遣され活躍しています。

山形県でも令和元年は山形県沖地震、台風19号、今年の7月には山形豪雨など甚大な被害を受けています。現在山形県の災害支援ナースは90名と全国的に少ない登録者数となっています。災害レベル1が発生した際は、最低でも災害支援ナース100名が必要とされています。山形県は災害看護フォローアップ研修もあり、災害支援ナース継続を応援しています。

「私も役に立ちたい！」と思った方、ぜひ災害支援ナースに登録して私達と一緒に活動してみませんか！

登録申請用紙はホームページよりダウンロードできます。興味のある方は、こちらからどうぞ。

令和３年度 山形県看護協会　改選役員及び推薦委員並びに支部役員
令和４年度 日本看護協会　代議員及び予備代議員への立候補・推薦について

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙規則第 12 条に基づき、選挙の公示を行います。
令和３年６月 18 日（金）に開催される令和 3 年度通常総会（於：山形県看護協会会館）において、山形県看護協会の改選役員及び推薦委員並びに支部役員、令和 4 年度の日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を実施します。下記の通り、立候補、推薦の受付期間についてお知らせいたします。

★改選役員名･人数（役員任期は１期2年）

1. 会長候補者１名　副会長候補者 1 名
   書記担当理事候補者 1 名　会計担当理事候補者 1 名
   保健師職能理事候補者 1 名　看護師職能Ⅰ理事候補者１名
   監事候補者 1 名
2. 支部理事候補者　庄内支部 1 名
3. 推薦委員候補者３名
4. 支部役員
   山形支部　副支部長候補者 1 名　書記担当役員候補者 1 名　会計担当役員候補者 1 名
   最北支部　副支部長候補者 1 名　書記担当役員候補者 1 名　会計担当役員候補者 1 名
   庄内支部　副支部長候補者 1 名　書記担当役員候補者 1 名　会計担当役員候補者 1 名
   置賜支部　副支部長候補者 1 名　書記担当役員候補者 1 名　会計担当役員候補者 1 名
5. 日本看護協会代議員候補者８名　予備代議員候補者８名

★受付期間など

立候補される方は、正会員３名以上の推薦を受けて、立候補届出書（様式第1号）及び立候補者推薦書（様式第2号）を選挙管理委員長に届けてください。届出用紙の様式第1号、第2号はホームページよりダウンロードするか､協会事務局に申し出てください。
（☎023-685-8033）

★選挙期日及び場所

令和3年6月18日（金）山形県看護協会会館

【届出先】

〒990-2473
山形市松栄1-5-45
山形県看護協会選挙管理委員長あて

【届出締切日】

令和3年3月31日（水）郵送の場合は当日消印有効

推薦委員会からのお知らせ

令和３年度の改選役員、推薦委員、令和４年度日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者について

会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦ください。
なお、ご推薦頂いた方につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

※改選人数と役職役員名等　選挙管理委員会からのお知らせと同じ
※推薦基準　（1）本会の目的達成のため活動に積極的に取り組み、任務を遂行できる人
（2）本会が定めた会議に出席できる人
※注意事項　あらかじめ、ご本人の意思を確認したうえで、ご推薦ください。

届　出　先　〒990-2473
山形市松栄 1-5-45　山形県看護協会推薦委員長　あて

提出締切日　役員・推薦委員について
令和 2年12月 25日（金）
支部役員、日本看護協会代議員及び予備代議員
令和３年１月15日（金）
郵送の場合は、当日消印有効

※推薦書は､ホームページからダウンロードするか､山形県看護協会事務局にお問い合わせください。
電話 023-685-8033

広報委員会

日本看護学会―在宅看護―学術集会（Web 学会）収録について
～Web学会収録の様子を取材させていただきました～

委員 平田　絵里

10月16日・17日に山形県看護協会にてWeb学会の収録が行われ、16日の収録の様子を取材させていただきました。カメラなど多くの見慣れない機材がある中、緊張感を持って取材に臨みました。

まずは、井上栄子会長による挨拶の収録から始まりました。カメラの前でも自然体の穏やかな雰囲気での挨拶が印象的でした。続いて、栗谷先生による特別講演の収録でした。庄内地方での在宅看護について、貴重なお話をたくさんお聞きすることができました。最後に、実演も含めたスキルアップセミナーの収録でした。「臨床推論を看護に活かす」をテーマに現場で役立つ貴重なお話をお聴きすることができました。実演場面を収録するのには想像以上に時間を要し、普段は見ることのできない舞台裏の苦労を垣間見ることができました。

今後も Web 研修や学会などが増えるとは思いますが、準備してくださった方々の苦労や努力に感謝しながら聴講しようと思いました。

2021年度の入会・継続手続きが始まりました!!

■継続の方

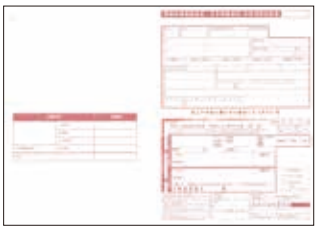
「2021年度会費のお知らせ」の内容を必ずご確認ください。

会員・口座情報に変更・不備なし ➡手続きは不要です。

会員・口座情報に変更・不備あり ➡会員情報変更届（右半分）を下記事務委託会社に送付。またはキャリナースで変更してください。

会員専用ページ キャリナース

QRコード



※キャリナースを利用するには、ユーザー登録が必要です。

※会費納入方法【口座振替】の方：自動引落日 2021年1月27日（水）

（以降、毎月15日まで受付完了分が翌月27日引落し）

■新規・再入会の方

2021年度「入会申込書／会員情報変更届」（オレンジ色）を下記事務委託会社に送付してください。
用紙が必要な方は、山形県看護協会総務課にご連絡ください。

★入会申込書等送付先：〒206-8790 日本郵便株式会社多摩郵便局私書箱第21号
（事務委託会社）　公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会会員登録事務局宛

■県外へ移動予定の方・継続されない方

県外へ移動予定の方 ➡移動先の都道府県看護協会へ連絡のうえお手続きください。

継続されない方 ➡「退会届」の提出が必要です。山形県看護協会HPの入会のご案内より「退会届」をダウンロードし会員証を同封のうえ、下記へお早めに郵送ください。

注意

会費納入方法を【口座振替】にされている方は、次年度会費が自動引落とし（初回1月27日）になりますので、**12月14日（月）まで**山形県看護協会総務課にご連絡ください。自動引落しされても**2021年3月26日（金）まで**ご連絡いただければ返金が可能です。但し、新年度（4月）になると返金ができませんのでご了承ください。

●送付・問合せ先：山形県看護協会 総務課 〒990-2473 山形市松栄1-5-45 TEL023-685-8033

山形県ナースセンターだより

令和2年度医療職のWLB推進ワークショップ終了！

10月3日(土)、「医療職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」が開催されました。
今回は、昨年に引き続き「山形ロイヤル病院」「天童温泉篠田病院」の2施設が参加して意見交換がおこなわれました。

山形ロイヤル病院

グループディスカッション

山形ロイヤル病院支援者

米沢市立病院
菅野　弘美

山形ロイヤル病院は、地域の慢性期病院として必要不可欠な役割を果たしています。若い職員も多く、子育て世代に優しい病院です。

WLB推進ワークショップに多職種で参加し、やりがいをもって働き続けられる職場づくりを目指し取り組まれています。

天童温泉篠田病院

発表

天童温泉篠田病院支援者

みゆき会病院
川井　ひろみ

昨年1年目では、シフトの変更、夜勤人数の増加、多職種との連携を行い、大きな改革へと、すばらしい行動力だと思います。今年は、昨年から課題になっている健康問題に着目しました。職種ごとではなく、全職員が取り組めるということにこだわっていました。すばらしいと思います。今後のアクションプランがとても楽しみです。

潜在看護師等復職研修

「ｅラーニングを活用した復職支援研修」「病院等施設実地研修」の紹介

山形県ナースセンターでは、最近の看護知識及び技術を修得して再就業に対する不安を払拭し、職場復帰に向けた学習ができる研修を紹介しています。申込は、山形県看護協会ホームページをご覧いただくか、山形県ナースセンターまでご連絡ください。就業への一歩が踏み出せず、ためらっている皆さん！ナースセンターにご相談ください。

ｅラーニングを活用した復職支援研修

パソコンやスマートフォン・タブレットで、自宅にいながら受講可能です。
基礎習得コースや院内全体研修コースなど、57 テーマを視聴することが出来ます。

病院等施設実地研修

病院等で実際に基礎看護技術や感染予防・管理などの研修を受講・演習できます。
研修期間は、3 日もしくは 1 か月の期間内に 3 日です。

≪受講した方々の声≫

- 例年とは異なる環境で、先が見えず不安だったが、ｅラーニングを受講して、とてもわかりやすく学習意欲をかきたてられた。
- 実地研修を受講して、久しぶりの医療現場で緊張したが、スタッフの方々が温かく接してくださった。頭ではわかっていたつもりでも実際に行うことで自分の未熟なところを知ることができた。

eナースセンターに登録されている方は、こんな就職活動・働き方をしています!!

フルタイムで就業することは難しい…。でも、空いた時間を利用して資格を活かしたい！

➡ 山形県ナースセンターの LINE@へ登録していただくと、健診センターでの健診業務や、イベントの救護などの求人情報を受け取ることができます。

ナースセンターに登録のない求人施設の情報を知って、応募してみたい！

➡ 山形県ナースセンターは、ハローワークと連携事業をおこなっており、情報共有することでスムーズな就職活動ができます。

就職活動をしているけど、情報が不足している。応募までの一歩がふみだせない…。

➡ 求人施設側の受け入れが可能であれば施設見学も可能です。不安なことや疑問に思っていることは、直接求人担当者に聞いてみましょう。看護技術が不安な時は、ｅラーニングや実地研修も活用してみましょう。

求人情報をご覧になりたい方はこちら

LINE@への登録はこちら

お問い合わせは、電話やメールでも受け付けております。
【電 話】
023-646-8878
【メール】
yamagata@nurse-center.net

「就業状況フォローアップ調査」のお願い

職業安定法改正に伴い、平成 30 年度より職業紹介事業者の紹介による無期雇用就職者の早期離職状況の報告が義務化されています。

この度、山形県ナースセンターでは、無期雇用者以外の雇用者（有期雇用就職者）についても就業状況を確認し、より一層求職者・求人施設の皆さまのニーズに合わせた職業紹介事業をすすめて参りたいと考えております。該当施設の採用担当者様には、御協力をお願いいたします。

【調査対象】有期雇用者で、令和元年10月1日以降に就職し、7ヶ月が経過した者
【実施方法】往復はがき（個人情報保護を施したもの）にて該当する有期雇用就職者が就職した施設へ送付

「往復はがき」を送付します。到着後、ご記入の上、返送くださいますようお願いいたします。

お知らせ

「看護師等職場説明会」「看護学校等進学説明会」
令和２年 12 月 27 日（日） 開催予定
※詳細については、山形県看護協会ホームページをご覧ください。

看護の仕事相談会予定について（11月～2月）

県内 10 カ所のハローワーク等の会場をお借りして、「看護の仕事相談会」を開催しております。日程は下記の通りです。この相談会は、雇用保険受給者の求職活動に該当します。

※相談時は、マスクの着用をお願いします。感染対策につとめながら、対応させていただきます。

会場 / 開催月	11 月	12 月	1 月	2 月
ハローワーク やまがた	6 日(金)	4 日（金）	8 日(金)	5 日(金)
マザーズジョブサポート山形	24 日(火)	22 日（火）	26日(火)	24日(水)
ハローワーク 寒河江	4 日(水)	2 日（水）	6 日(水)	3日(水)
ハローワーク 村山	16 日(月)	14 日（月）	18 日(月)	22日(月)
ハローワーク 新庄	17 日(火)	15 日（火）	19 日(火)	24日(水)
ハローワーク 鶴岡	18 日(水)	8日(火) 就職面談会（マリカ市民ホール）	13日(水)	9日(火)
ハローワーク 酒田	19 日(木)	3日(木) 就職面談会（勤労者福祉センター）	14 日(木)	10日(水)
マザーズジョブサポート庄内	12 日(木)	中止	7 日(木)	4日(木)
旧長井小学校	25 日(水)	17 日（木）	21日(木)	18日(木)
置賜総合文化センター	13日(金)就職フェア（グランドホクヨウ）	24 日（木）	28日(木)	25日(木)

山形県ナースセンター（山形県看護協会内） TEL:023-646-8878

理事会等の開催報告

令和2年７月17日（金） 第4回理事会

審議事項
1. 令和2年度理事会の日程について……〈承認〉
2. 令和2年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について……〈承認〉
3. 令和2年度山形県看護協会「地域の看護力強化支援事業」申請の選考……〈承認〉

令和２年９月７日（月） 第5回理事会

審議事項
1. 令和2年度常務理事会・理事会の日程・開催時間について……〈承認〉
2. 令和2年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について……〈承認〉

令和２年7月上旬～令和２年10月中旬の山形県看護協会事業実施状況

令和2年 7月20日(月) 第51回(2020年度)日本看護学会-在宅看護-学術集会第3回抄録選考委員会
令和2年 7月30日(木)・31日(金) 日本看護協会第3回理事会・法人会員会
令和2年 8月 3日(月) 第31回山形県看護実習指導者講習会開講式
令和2年 8月19日(水) 第6回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)開講式
令和2年 8月22日(土) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会開講式
令和2年 9月 3日(木) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講式
令和2年 9月10日(木) 2020年度都道府ナースセンター地区別意見交換会(Web開催)
令和2年 9月17日(木) 第6回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)閉講式
日本看護協会認定看護管理者教育機関担当者会議(Web会議)
令和2年 9月24日(木) 日本看護協会都道府県看護協会政策責任者会議
令和2年 9月25日(金) 日本看護協会第4回理事会・法人会員会
令和2年10月 3日(土) 令和2年度第11回医療安全やまがたフォーラム
令和2年度医療職のWLB推進ワークショップ
令和2年10月 8日(木)・9日(金) 日本看護協会地区別法人会員会(北海道・東北地区)
令和2年10月 9日(金) 地区別職能委員長会(北海道・東北地区)(Web開催)
令和2年10月16日(金)・17日(土) 日本看護学会-在宅看護-Web学術集会収録

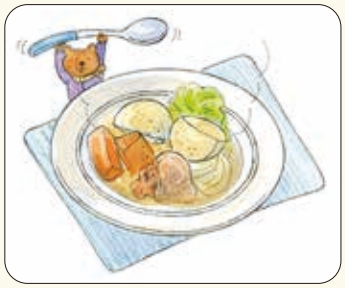
インフォメーション

図書館からのお知らせ

2021年1月12日(火)～15日(金)は蔵書点検のため休室いたします。

カンタン！時短レシピ シリーズ4

レンジで簡単ポトフ



作り方

1. 材料を一口大に切る
2. すべての材料・調味料を耐熱容器に入れる
3. 600Wで6～8分チン!
4. じゃがいもが柔らかくなれば完成

材 料

- ジャガイモ
- ニンジン
- 玉ねぎ
- ベーコン
- コンソメ適量
- 水(食材が隠れる程度)
- その他、好きな食材もどうぞ!

編集後記

皆様方に少しでも興味を持って頂けますよう最新情報などを取り入れ、内容の充実に頑張っています。
いぶきの表紙に今後も各施設の特色や活動などを紹介していきます。
我こそはと思われる施設の方はお知らせ下さい。

山形いぶき YAMAGATA IBUKI
山形いぶき 第151号 編集／広報委員会 発行／令和2年11月15日 公益社団法人山形県看護協会 〒990-2473 山形市松栄1-5-45(アルカディアソフトパーク山形内) TEL023-685-8033